



生徒の意識調査について

長崎県教育方針

国際交流の歴史が息づく①郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや②個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、③我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成を目指す。(以下略)

毎年この時期に、上記_____の部分については、県から生徒への意識調査が行われます。

そこで、今回の学校だよりでは深堀中生の意識調査結果をお知らせします。なお、2年生と3年生については昨年の結果と比較して掲載しています。

質 問 内 容		中1	中2		中3		平均	平均
		R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
① ふるさとのことを理解し愛情をもっている	肯定	87.5	77.8	△83.9	95.8	▼80	84.1	▼83.8
	否定	12.5	22.2	16.1	4.2	20	15.9	16.2
② 周囲や相手に思いやりをもって生活している	肯定	100	91.7	△100	100	100	97.2	△100
	否定	0	8.3	0	0	0	2.8	0
③ 戦争の悲惨さ平和の尊さについて理解を深めている	肯定	100	88.9	▼83.9	75	△95	94.8	▼93.0
	否定	0	11.1	16.1	25	5	5.2	7.0
④ パソコンを使った学習に意欲的に取り組んでいる	肯定	87.5	69.4	△87.1	87.5	△95	83.8	△89.9
	否定	12.5	30.6	12.9	12.5	5	16.2	10.1

(昨年度と比較し肯定意見が増加には△、減少には▼を記しています)

【考察及び関連項目に対する学校教育の取組】

- ①の郷土愛に関しては**0.3%減少**しています。1年生は、県から配布された郷土学習資料「郷土長崎」を社会科の授業を始め、様々な場面で活用することで、郷土についての教育の充実を図ります。2年生は、職場体験学習で地域の事業所で職業観を養い、地域で働く方々から多くのことを学びます。その他地域行事に参加し、地域の良さを発見する機会を設けていきます。
- ②の人権教育の基本である相手への思いやりに関しては、どの学年の生徒も**100%**で高い意識をもっています。生徒の発達段階を踏まえ、教育活動全体を通して人権尊重の精神を育む実践を行います。
- ③平和教育に関しては、全体としては**1.3%減少**しています。1年生は、被爆遺構めぐりのフィールドワークを中心に被爆の実相を、2・3年生も戦争の構造や平和な社会の創造に向け、それぞれ学びを深めていきます。また、被爆体験講話を聞く機会を設定していますので、戦争や原爆の悲惨さ、生命の尊重について学ぶ取組を行います。
- ④のパソコンを使った学習に関しては、**6.1%増加**しています。GIGAスクール構想により1人1台のパソコンが整備されたことで、学校での使用頻度は年々高まり、今後もさらに使用方法や学習の幅を広げていきます。